

## 【金沢区】令和 8 年第 1 回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和 8 年 2 月 9 日 15 時 00 分 ～ 16 時 45 分
場 所	金沢区役所 5 階 1 号会議室
出席者	<p>【議員：5 名】 坂井 太 議員（座長）、 谷田部 孝一 議員、黒川 勝 議員、 竹野内 猛 議員、横溝 じゅん子 議員</p> <p>【金沢区：28 名】 齋藤 真美奈 区長、野坂 高志 副区長、 船山 和志 福祉保健センター長、 渡邊 誠 福祉保健センター担当部長、 渡邊 知幸 金沢土木事務所長、 三村 英明 金沢消防署長 ほか関係職員</p>
議 題	<p>1 令和 8 年度 個性ある区づくり推進費 予算案について</p> <p>2 その他</p>
発言の 要 旨	<p><b>1 令和 8 年度 個性ある区づくり推進費 予算案について</b></p> <p><b>竹野内議員：</b>釜利谷南地域の宮川支流水路周辺の浸水対策について、大雨のたびに水路の越水で、周辺の家屋への床下浸水等の被害が発生している。土木事務所も当該地の課題を把握しており、定期的な水路の清掃や大雨が予想される前には直前に草刈りや清掃を行っている事は承知している。一方で、昨年 9 月に水路があふれ、お住いの方々から更なる対策を望む声を頂いている。どのように対応されるのか伺いたい。</p> <p><b>中島金沢土木事務所副所長：</b>昨年 9 月に発生した越水被害を受け、暗渠前に設置しているスクリーンについて、堆積物が滞留しにくいよう改良を行っている。また、定期的な水路清掃に加え、大雨が予想される際には、事前の堆積物撤去や点検を確実に実施するなど、引き続き適切な維持管理に努める。</p>

**竹野内議員**：実際に水があふれた際に、家屋への浸水を防ぐためには土のうが有効。これまでも、越水の危険性が高い地域に土のうステーション設置のお願いをしてきた。区内では、西富岡地域に2基設置をしていただき、地域の方に利用してもらっている。釜利谷南地域においても、例えば釜利谷南公園の入口付近などにスペースもあり、土のうステーション設置を積極的に検討してほしい。

**中島金沢土木事務所副所長**：土のうステーションについては、現在、土木事務所において設置に向けた検討を進めている。今後、年度内に地元関係者の皆さまとの調整を進め、梅雨入り前6月までの設置を目指し、鋭意取り組んでいきたい。

**竹野内議員**：京急富岡駅前のトンネル内の違法駐輪対策について、京急富岡駅前の車道も歩道も狭く、駅高架下のトンネルを通行する方も多いが、狭いトンネル内に放置された自転車が多数。ベビーカー利用者などから対策を望む声をいただいている。定期的に警告メモを付いたり、撤去を行っているが、後から後から駐輪され抜本的な解決には至っていない。更に管理を強め、啓発を強化するなど一層の対策をお願いしたい。

**中盛地域振興課長**：以前より、自転車が放置されている状況がある。昨年、駅周辺の工事に伴い、一時トンネル内が資材置き場となり幅員が狭まる状況があったため、一時期、札付けや移動作業をプラスして行っていた。金沢区内各駅で放置自転車が見受けられるが、限られた回数の中で、道路局と連携しながら、更に力を入れて撤去等を行っていききたい。一方で、既存の駐輪場は足りており稼働率は80%程度。引き続き案内や啓発をトンネル内にも行っていききたい。

**竹野内議員**：「金沢若者ライフデザイン事業」について、昨年12月に初開催され、横浜高校、関東学院大学のセミナーの様子を拝見した。参加した高校生・大学生からどのような感想が寄せられているのか伺いたい。

**木村区政推進課長**：高校生には、妊娠から1歳までの子育てで起きるイベ

ントをすごろく形式のゲームで知っていただいた。また、未就学児のいるご家庭との交流を行った。高校生からは「育児には、不安や心配などふわっとした気持ちがあったが、実際に赤ちゃんと触れ合うことで、前向きな気持ち、具体的なイメージがわいた」「親御さんから話をうかがうなどで、その時ならではの悩みや不安を知ることができて自分自身の視野が広まった」という感想をいただいた。

大学生には、自分の将来に関する「もやもや」を書き出していただいた後、子育て家庭の方のキャリアとライフについての体験談を聞いていただき、最後に自分の未来を考えてみるワークを行った。大学生からは、「これからの大学生活の中で自分の人生についていろいろと計画を立てていきたいと思った」「今の自分の理想は今だけかもしれないため、その都度自分のしたい事や夢などは変わっていくので、定期的に理想の整理が必要と感じた」など、セミナーを通して、具体的に将来をイメージし、新たな気づきを得たという感想が寄せられている。

**竹野内議員：**来年度は3か所に拡大して実施することで、一人でも多くの高校生、大学生に提供してほしいがどうか。

**木村区政推進課長：**本年度の実施で得られた生徒さんの感想や先生からのフィードバックをしっかりとアピールし、一人でも多くの高校生、大学生が受講機会を得られるよう調整していきたい。あわせて、実施方法や内容についても、参加者のニーズに合わせて一層効果的に実施できるよう検討していく。

**竹野内議員：**将来的には横浜市全体に広げたい事業と考えている。市でも何校か考えているようだが、もっと広がっていくように金沢区の成果を局にアピールしてほしい。

地域の移動手段の維持・確保の取組について、能見台・富岡地域の「とみおか一と」が12月から本格運行を開始した。地域から、利用促進を行い地域に定着させたいとの思いも聞いている。地域の意見の取りまとめなどを行ってきた「おかまち」からは、とみおか一とが走って終わりではなく、既存のバス路線についても、バス停の位置にとらわれない自由な乗り降りができないかなど、高齢化に伴う新たな意欲的な提案も寄せられている。

区としても引き続き連携を密にさせていただいて、地域の利便性が向上する取組の後押しをしてほしい。

一方で、東朝比奈と六浦駅をつなぐバス便の実証運行について、京急バスとの協議も整い、近々運行を開始すると聞いているが、直近の調整状況、運行ルート、運行開始時期等について伺いたい。

**木村区政推進課長：**運転士の確保が可能となり再開の目途が立ったことから、4月1日より運行を再開することで調整を図っている。再開に向けて、昨年10月に自治会に対し説明会を行い、11月には本格運行の開始について横浜市地域公共交通会議に付議し、了承されている。運行ルートについては、令和4年に実施した実証実験のルートから変更はなく、バス停の設置に向けて調整を行っている。

**竹野内議員：**学校グラウンドの夜間照明を活用した防災訓練について、公明党市議団として学校グラウンドへの夜間照明設置の推進、LED化、また防災対応として停電時も外部電源接続で使用可能にすることを提案してきた。その結果として、3年前に戸塚区の柏尾小学校に政令市で初めて設置された。既存の夜間照明についてもLED化に合わせて設置工事が進められており、六浦中学校でも年度内に工事が完了する予定と聞いている。防災対応型の夜間照明について、いざというときに地域で活用できるよう、防災訓練などで着実な活用を図っていただきたい。

**小柳総務課長：**発災時の具体的な運用方法については、現在、教育委員会を中心に検討を進めている。区としても、発災時にしっかりと使っていたできるように、地域防災拠点の訓練などにおいて、引き続き助言や支援などを行っていく。

**竹野内議員：**「不登校支援『つながるまち』事業」について、不登校が増加傾向で教育委員会でも教室外登校やオンライン環境を活用した学びの提供など、個々の状況に寄り添った支援に努めている。区としての課題認識と、それに対してどのような対応・支援を行うのか伺いたい。

**飯田学校連携・こども担当課長：**区内でも不登校児童生徒が増えている現

状を踏まえ、区内の学校現場の先生方と意見交換を行った。その中で、不登校の要因が必ずしも学校だけでないことや、誰とも関わりがない子どもたちがいること、家庭への情報提供が十分でないことなどが意見として出てきた。区としては、不登校児童・生徒に対する地域全体の理解と支援の輪を広げていくことが課題であると認識している。そこで、区内の地域関係団体と連携しながら、学校や教育委員会の不登校支援策に加えて、区独自の取組を進めていく。

**竹野内議員：**一人暮らし等の高齢者の情報登録制度について、登録の受付開始から2か月が経ったが現状での登録人数を確認したい。

**小林高齢・障害支援課長：**令和8年1月26日現在の金沢区での登録者数は14人となっている。

**竹野内議員：**まだ周知が足りないと思う。特に一人暮らし高齢者にとって、もしもの時の安心につながる大切な制度であり、制度の意義を伝え、無料で登録できること、相談窓口もあることなどを、さらに周知してほしい。

**小林高齢・障害支援課長：**事業の周知について、町内会連合会定例会での説明や、民生委員児童委員やケアマネージャーの協力を得ながら個別の見守り活動や支援を通じて丁寧な周知を行っている。今後も引き続き周知が必要なので、シニアクラブや介護サービス事業者等をはじめ、関係団体のご協力をいただきながら、高齢者の方一人ひとりにアプローチしていく。

**竹野内議員：**来年度、新規に「終活きっかけづくり事業」を開始するとの説明があったが。事業の参加者にもこの制度の登録推進を図ってほしい。

お悔やみ窓口について、先行設置の鶴見区や瀬谷区では大変好評で、利用者からも高い評価をいただいていた。金沢区でも昨年10月に設置されたが、これまでの利用状況と利用者の声について伺いたい。

**操戸籍課長：**金沢区におけるお悔やみ窓口の利用状況について、1日4枠の予約枠に対し、令和7年10月から令和8年1月の4か月間の実績では利用率が7割を超えており、市内で最も高くなっている。利用者の声につ

いては、お悔やみ窓口を御利用いただいた方には全市的にアンケートを実施している。昨年10月から12月下旬までの市全体の結果は、99%の方から「お悔やみ窓口を利用してよかった」との評価をいただいている。金沢区の窓口においても、利用者の皆様から、「何をすれば良いか全く分からず、お悔やみ窓口があって本当に良かった」、「親切に教えていただき不安が解消された」、「自分では気づかないことを教えてもらえて、スムーズに手続できた」などのお声をいただいている。

**竹野内議員：**引き続き相談者一人ひとりの状況に寄り添った親切な支援と必要な方が利用できるよう周知に努めてほしい。

区役所駐車場の減免について、先日ある区民の方から、区役所で印鑑証明の再発行をした際に、手続きに約1時間半かかったが駐車場の減免が1時間しか認められなかったと相談があった。窓口の混雑等の事情も含め、手続きに1時間以上かかった場合は、駐車場の減免について柔軟な対応が取れるよう早急に改善が図れないか。

**小柳総務課長：**お話いただいた通り、手続きやご相談等で来庁された方の駐車料金は1時間減免としているが、引越しシーズンの3月末から4月初めは、戸籍課などを利用した方で待ち時間、手続き時間が1時間を超えた場合は2時間減免などとしている。車で来られる方と公共交通機関を利用して来られる方の公平性の観点から、減免時間を超えた部分については原則通り有料としている。減免については全区役所で共通となっているが、区としてはなるべく待ち時間を減らしたいと思っており、番号発券システムの浸透などできるだけ待ち時間を少なくする取組も進めている。

**竹野内議員：**横浜逗子線の整備について、現在事業化されている環状4号線の先、六浦駅前に向かう部分は事業化の目途が立っていない。通学路でもあり歩道も車道も狭い危険な状態であり、引き続き粘り強く事業化を求めてほしい。また、レイディアントシティ入口前から新たなトンネルに接続する道路についてまだ事業の目途が立っていない。トンネル工事と並行して事業化が図られるよう区としても強く働きかけてほしい。

**中島金沢土木事務所副所長：**レイディアントシティ入口交差点付近の釜利

谷側は、道路局において工事着手に向けた詳細設計や用地取得を鋭意進めている状況。区役所としては、市民の皆様の安心・安全に寄与する「横浜逗子線」の六浦駅前地区を含む全面開通を引き続き強く要望していきたい。また、道路局と連携し事業の着実な推進と一日も早い工事完成に向けて取り組んでいきたい。

**竹野内議員：**シーサイドライン幸浦駅へのエレベーター設置について、並木北駅のエレベーターは躯体が完成してきているが、いつ頃の共用となるのか。

**中島金沢土木事務所副所長：**並木北駅のエレベーター設置については、現在、土木工事が終了し、昇降機設備工事を進めており、令和8年3月末に完成する予定。

**竹野内議員：**幸浦駅も早期のエレベーター設置工事をお願いしたいが、着手時期はいつ頃か。

**中島金沢土木事務所副所長：**幸浦駅のエレベーター設置については、工事業者との契約に時間を要しているが、令和8年度内の工事完成を目指し、工事契約を令和8年3月、工事着手を4月末から5月上旬の見込みで進めている。

**竹野内議員：**LINKAI 横浜金沢エリアの防犯・安全対策について、以前から道路が暗い、危ないと指摘を受け、経済局や港湾局等の関係部署と話をしてきたがなかなか前に進まなかった。この度、経済局の助成金運用を見直す形で夜間照明の設置を後押しするものとなり、大きな前進だと思っている。夜間照明の設置が進んでいくよう区としてもサポートをしっかりと行ってほしい。

**木村区政推進課長：**LINKAI 横浜金沢エリアにおける夜間の防犯・安全対策については、従来からの事業者の皆さまからのご意見を踏まえ、今年度、区提案反映制度を活用した提案を行った。経済局からは、既存のものづくり魅力向上助成金の運用の見直しについて検討し、防犯灯など夜間照明の

設置をメニューとして支援対象に追加することや、設置に向けた調査費と電気料金を助成の対象に加える旨の回答を得ている。照明設置等の検討・実施については、地域の企業・団体の皆さまによって進められるが、制度が円滑に運用され、地域の課題解決につながるよう、区としても、引き続き課題感等をお伺いしながら、局とも連携しサポートしていく。

**黒川議員：**「かなざわっこを共に育む応援プロジェクト」の「こどものからだと心を守るセミナー」について、「包括的性教育」のセミナーを、放課後等デイサービス、放課後キッズクラブ、放課後児童クラブの施設のスタッフに対して行うということだが、これはどういう内容なのか。

**渡部こども家庭支援課長：**今回のセミナーについては、包括的性教育に詳しい外部の専門家の方を招き、基本的な考え方、必要性、子どもたちとの関わり方のポイントなどについて学んでいただき、子どもたち自身が自らを大切に、守れるように日頃の支援につなげていただきたいと思います。

**黒川議員：**特に、LGBTQ のような課題に関しては、特に学年の低いお子さんたちにとってなかなか理解しにくい部分や教えにくい部分であるので、きちんとどういう形で行うのかをチェックをしていただきたい。以前、瀬ヶ崎小学校でLGBTQの人たちが、子どもに対してセミナーやワークショップなどを実施した。私はそれ見学をしていて、ちょっと穿った見方をすると、例えば大谷翔平が好きな男の子は「自分はもしかしたら男の子が好きな体質なのか」とか、AKB48 が好きな女の子が「自分は女の子が好きな体質なのか」と、自分がLGBTQ かもしれないと勘違いしかねないような教え方をしていたふしもある。そのような部分では十分注意をお願いしたい。

「不登校支援『つながるまち』事業」の「つながるまちマップ」を作成するということが、支援団体や居場所の情報提供は是非していただきたい。これはどれぐらいの枚数を作ってどこに配るのか。

**飯田学校連携・こども担当課長：**どのような形で作成するかについては現在検討しているところ。マップというと紙をイメージしがちだが、スマートフォンやSNSなども普及してきており、デジタルデータも含めて、周知していきたい。こういった形で広めていくのが良いか、利用される方が使

いやすい方法も含め、団体等とも話をしながら確認していきたいと思っている。

**黒川議員：**本当に必要なお子さんたちにきちんと伝わるのが大事だと考えるので、十分な配慮をお願いしたい。学校とも繋がっているのも、子どもたちからも意見を聞いて、子どもたちに対して子どもたちが望んでいる形で情報提供ができるような対応をお願いしたい。

「終活きっかけづくり事業」について、ヤングケアラーに関してあまり触れていない感じがする。お年寄りに対して、若い人たちあるいは学生さんなどのお子さんたちがケアをしているというケースも多々あると思う。金沢区のヤングケアラーの実情をどのように把握し、どのような対策を講じているのか。

**渡部こども家庭支援課長：**ヤングケアラーについては、昨年12月に局が主体で市立の小学四年生、中学一年生、高校一年生に対して実態調査を実施した。結果はまだ出ていないが、この中でヤングケアラーなど困り事がある子については区役所の福祉職に相談ができるということを行い、金沢区内で6人の子が相談をしたいと手を挙げられ、すでに一部の子どもに対してヒアリングを行っている。一方で、こちらの見立ではおそらく困ったことを抱えているのだろうと思われるのだが伝えてはこない子どももいるし、ヤングケアラーそのものを発見できたわけではないが、取組は局も今後も毎年行っていきたいと言っている。

**黒川議員：**学校のほうで把握していることがあると思うし、潜在的に6人どころではないと思う。実態をよく把握して高齢者の権利サポートのような部分も含めて、しっかりと対応をしていただきたい。特にヤングケアラーに関しては、ケアされているお年寄りにとっても、自分の子どもや孫に看てもらっているという負い目もあると思う。若い世代にとって大きな課題となっていると思う。実態を把握してどのような手伝いをしてあげたらいいのか、それぞれの区によって実態は違うと考える。区できちんと実態も調査しつつ対応を図っていただきたい。

「区民や大学の活力を生かした地域支援事業」の「金沢区空き家等を活用した地域の『茶の間』支援事業」について、金沢区にこのような居場所

が増えてきたと感じている。初期費用や運営経費に対しての補助はありがたいが、一番問題になるのは茶の間的な多世代交流拠点ができ始めて五年、十年と経過し、継続性や次の担い手の育成などが壁に当たっているという声をよく聞く。継続性や次世代育成などの部分に力を入れてもらいたい。具体的には、成功している多世代交流拠点などの成功事例を共有するセミナーやワークショップなどをやってもらいたい。

そういう努力をしてきても、途中でやめる、空中分解する、担い手がいなくなり閉鎖するというようなことにならないように、ぜひサポートをしてほしい。

金沢区制 80 周年記念事業について、ある町内会長から「金沢区中の神輿を集めてパレードをやりたいという声をいろいろなところから聞くが、区役所はどう動いているのか」と聞かれている。区で把握していることがあるか聞かせてほしい。

**小柳総務課長：**金沢区制 80 周年記念事業はこれから中身を詰めていく。行政が主催で大きなイベントを行う時代ではなく、区内で様々な活動をしている団体の方々と 80 周年として一緒に何を行うことが可能か、区の中で様々なイベントが行われ、全体として 80 周年を盛り上げるという形ではどうかなど、区民の皆様と一緒にやっていけるような形を目指していければと考えている。

**黒川議員：**地域の皆さんからいろいろな発意があり、いろんなことにチャレンジしてくださるのは素晴らしいことだと思う。80 周年の考え方を区連会などで皆さんに周知していただきたい。

「金沢区観光振興事業」について、今計画している区民文化センター 1 階に、観光 PR のためのスペース、例えば観光協会をそこに持ってくるとか、区のいろいろな名産品やぼたんちゃんグッズなどの物販ができるのではないかと聞かれていることがあれば教えてほしい。

**中盛地域振興課長：**区民文化センターについて、1 階のレイアウトなどの設計が決まった。スペース的に活用できそうな部分はあるかと考えている。地域の様々な物産等を含めて PR していきたいとも考えている。観光協会を含めてどんな携わり方ができるかを、今後指定管理者が決まった

ら、一緒に進めていきたいと考えている。

**黒川議員：**駅に近いところに拠点が良いという話は観光協会からも聞いている。まさに駅から近い場所でもあり積極的にいろいろと働きかけをしていただきたい。

小柴自然公園第二期整備の全面開園に向けた整備促進及び予算措置について、若い世代の方たちから、最近のスケートボードなどの新しいスポーツに対する要望を聞く。ぜひ区からも働きかけてほしい。何か動いていることはあるか。

**木村区政推進課長：**小柴自然公園については、前回の区づくり推進横浜市会議員会議にも関係局が来ていたが、第三期エリアについては民間の力も入れながら活用していく。スケートボード、インラインスケート、ボルダリング、BMXなどのいわゆるエクストリムの練習場所も考えられるため、引き続き局と話をしていきたいと思っている。

**黒川議員：**第三期エリアは山の上の方にあり、かなり先の話になってしまう。第一期エリアの中にスケートボード禁止の貼り紙があるが、実際に練習している人がいる。特にスケートボードに関しては第一期エリアの中でできるのではないかと思う。ぜひ区から働きかけをしていただければと考えるがいかがか。

**木村区政推進課長：**ご意見をお伝えしたい。

**黒川議員：**去年の秋、海の公園で高校生世代の人たちとの間で喧嘩みたいな傷害事件があったという話が耳に入っている。警察が情報を把握していると思う。海の公園、野島公園、小柴自然公園などの大きな公園で夜中に若い人たちがたむろしているので、そういったところに防犯カメラを設置できないか。区で状況を把握していたら教えてほしい。

**小柳総務課長：**よろしければ詳しい話を聞かせていただき、できることを関係部局と相談していきたい。

**黒川議員：**この話をみどり環境局にしたら、最近は防犯カメラが付いた自動販売機があり、事業者がやってくれるためあまり費用も負担もかからないと聞いた。そのようなことも含めてこどもの安全安心にも配慮していただきたい。

昨年実施した「地域で実現！金沢子どもの夢プロジェクト」は、今年はどうなるのか。

**渡邊地域力推進担当課長：**今年度、新規事業として「地域で実現！金沢子どもの夢プロジェクト」を実施した。間もなく全7団体の事業が終了する。子どもたちからもやってよかったという意見をいただいております、来年度も引続き実施する。夏休みも活動したかったという意見もいただき、選考期間、募集期間、チェック期間をできるだけ前倒して夏休みも対象期間となるよう工夫して実施していきたい。お手元の詳細説明資料に掲載している。今年度はアイデアコンテストを8月に実施したが、来年度は7月に前倒しして工夫してやっていく。

**黒川議員：**ぜひ子どもたちが活動しやすい時期に実施をしていただき、成果があがるようつなげてほしい。

海の公園に長浜検疫所の一号停留所が移築されて、スターバックスコーヒーができるということだが、スターバックスコーヒーではリージョナルランドマークストアという歴史的建造物の中に作るスターバックスというようなものを全国で展開している。実際に一号停留所でどのような形になるかを見たら、ワークショップをするスペースもあるということだった。区役所からもスターバックスに働きかけてリージョナルランドマークストアに指定を受けてもらいたい。スターバックスのホームページにも掲載されて、観光振興にもつながる話だと思う。その中でこんなワークショップをしたら良いのではないかというようなことも提案していただければと思うが、どのような動きをしているのか。

**木村区政推進課長：**旧長浜検疫所一号停留所の活用候補者は、1月7日にスターバックスコーヒージャパンに決定している。施設の右半分が、ワークショップなどに活用できる歴史と魅力の推進スペースとなっている。とりあえず情報が入手できたという段階だが、令和8年夏頃のオープンに向

け、協議検討を行っていくというところであり、引き続きそのような御意見を区から伝えていきたい。

**黒川議員：**どうやって活用していくかを考えるワークショップなどでは、野口英世顕彰会の皆さんがいろいろと手伝っていただけると思うので、ぜひ連携を図っていただきたい。

12月からとみおかーとの本格運行が始まっているが、利用状況はどうなっているか。

**木村区政推進課長：**12月の時点から統計を取っている。2022年に一度実証実験を行っているが、その時より倍程度利用されており順調な滑り出し。1日あたりの平均利用者は、12月、1月とも1日約25人となっているが、目標は1日70人であり、さらなる利用促進を図っていく必要がある。引き続き定期的に検討会を行っており、区としてもサポートしていきたい。

**黒川議員：**1日70人の目標は、現状だとハードルが高いとも思うが、これがうまくいけば、ほかの区や金沢区内の他の地域にも広がっていくような試みだと思う。大勢の方に利用していただくための工夫や努力など区役所からもサポートしてほしい。

**横溝議員：**「不登校支援『つながるまち』事業」について、コロナ禍を契機に不登校学生、児童等が増えている。ハートフルセンター上大岡を視察し、内部は過ごしやすくきれいだが、自宅から出られずハートフルセンターまで行けない子どもも多く、金沢区から遠くはないが活用しにくいと感じた。この事業では保護者同士が交流できる場の提供や相談対応が行われ、家庭の孤立を防ぐ重要な役割ができると思う。不登校の子どもを持つ保護者同士の関わりの場として、ハートフルセンターのカフェというたまり場がある。この事業でもそういった場所を検討しているか。

**飯田学校連携・こども担当課長：**区内の活動支援団体の中でも、保護者が集まる所やいわゆる「親の会」のような取組はあるが、詳細は把握できていない。不登校の要因は様々である中、保護者の悩み事も多様ではないか

と思う。この事業では、不登校児童・生徒に対する地域全体の理解と支援の輪を広げていくことが課題であり、今後各団体を回って現状を把握したいと思っている。保護者との関わりや、保護者が抱える悩みニーズを確認しながら、どのような対応ができるか検討していきたい。

**渡邊地域力推進担当課長：**「区民や大学の活力を生かした地域支援事業」で、こどもが地域の大人とつながり安心感が得られる居場所、保護者同士がつながる場所が必要と考えている。既存のコミュニティサロンでは、登校が困難な子どもも含め、子どもが地域の中で大人とのつながりや安心感が得られるような学習支援、居場所事業が行われている。このような取組がコミュニティサロンで更に増えてほしいと考えている。8年度は「金沢区空き家等を活用した地域の『茶の間』支援事業」を拡充し、不登校に限るわけではないが、既存のコミュニティサロンで新たに子どもや親の居場所づくりを実施する場合の初期費用や運営経費に対して補助を行う予定である。

**横溝議員：**金沢区で駅に立っていると保護者から深刻な悩みを受けることがあり、吐き出すところがないのかとも思う。このような場所を作るとは区役所の存在意義だと思うのでぜひ進めてほしい。

障害者理解促進事業について、前年度と比較して予算が減額されている理由は何か。また、中期計画の政策指標では、「障害児・者にとって暮らしやすいまちだと思いますか」の指標が 30.9%となっており、課題があると感じている。金沢区が率先して障害者理解促進の取組みを進めてほしい。

**小林高齢・障害支援課長：**予算が減額されている理由は、金沢区では、障害のある方が活躍されている障害者施設の活動や製品を紹介したガイドマップ「金沢区障害福祉ガイド活動の場MAP」を2年に1回作成しており、令和7年度は作成の年にあつたため、その経費を計上していた。リーフレットの作成およびホームページ上の同マップの読み上げソフト化の対応を行い、3月に発行予定である。今回は、令和9年度の作成を予定している。

障害者理解促進の取組みについては、金沢区では、令和5年度にグループホーム建設にあたり地域から反対の声があがったことを踏まえ、これま

で、障害理解促進に努めてきた。具体的には、金沢区障害者地域自立支援協議会と連携し、地域防災拠点等での出前講座、区民向けの講演会や映画上映会を行っている。また、障害者週間には、作品展を区役所やいきいきセンター、自立支援協議会のホームページで行ったほか、区役所では通年にわたって製品販売を行っている。さらに、広報よこはまへのコラム掲載や、金沢シーサイドFMでの団体の活動紹介、啓発動画の作成など、広報ツールを活用した継続的な発信も行っている。なお、出前講座での車椅子や白杖の体験の反響を踏まえ、8年度は広く一般区民の方が体験できる啓発方法も検討していく。

**横溝議員：**障害児・者にとって暮らしやすいまちと思う人が増えるよう変えていく必要がある。引き続きお願いしたい。

「終活きっかけづくり事業」について、本事業で活用されるツールは単年度での利用になるのか、今後も再利用・横展開が可能な仕組みとなっているのか、また運用方法はどうなっているか。

**木村区政推進課長：**すごろくや人生ゲームのようなものをイメージしており、一度作成すれば何度も繰り返して使うことができるものを考えている。作成するツールは地区センターなどの区民利用施設においていただき、次年度以降も区民の皆さまに広く利用していただけるものとして考えている。

**横溝議員：**「金沢防災えんづくり事業」に関して、横浜市の防災ライセンス講習会に参加した。このような区民体験型事業を金沢区主体で開催できないか。

**小柳総務課長：**防災ライセンス講習会は、総務局危機管理室が実施している。区内での開催の要望については危機管理室と共有させていただく。また、区としても発災時に役立つような訓練を日頃から多くの区民の方に体験いただくことは重要だと考えている。金沢区では、各地の地域防災拠点で、簡易トイレの設置や発電機・投光器の動作体験など、地域住民も参加できる防災訓練が実施されており、区もそれぞれの地域防災拠点の訓練の支援に取り組んでいる。引き続き体験機会の充実を行っていけるよう、今

後も支援を続けていきたい。

**横溝議員：**防災ライセンス講習会は、とても人気があるが開催場所も日程も限られている。このようなライセンス事業が増えて広がると良いと思っている。

「金沢魅力プロモーション事業」について、インフルエンサーを活用することだが、委託費や謝金等の費用が発生するのか。選定基準、費用対効果の考え方を教えてほしい。

**木村区政推進課長：**「金沢魅力プロモーション事業」の広報サポーター任命制度だが、高い発信力のある方を考えており、何かしらの金銭的なお礼を行うことを想定している。具体的なところは検討していくが、SNS には投稿後の成果をはかるフォロワー数などの指標が各種ある。何らかの指標に応じて、区の支払い額の多い少ないが決まり、効果が見込める投稿にはより多くのお金が支払われるような制度設計をしたいと考えている。例えば、長野県はフォロワー数に応じて金額が変わる仕組みとなっている。先行事例も参考にしながら具体的な基準について考えていきたい。

**横溝議員：**「金沢まつり事業」について、予算額は変わっていないが「金沢区観光振興事業」の予算額は増えている。金沢まつりの運営にも携わっている横浜金沢観光協会に、出店が少なく行列になっているが出店を増やすのか聞いたところ、金沢区と関係のない店が急に来てもお断りしているという事だった。事業が分かれておりわかりにくいですが、観光振興についての予算がどうなっているか説明してほしい。

**中盛地域振興課長：**「金沢まつり事業」の予算については、夏の花火大会と秋のいきいきフェスタについて、補助金として金沢まつり実行委員会に支払っている。内部で工夫しながら地域や企業の皆様からの協賛金等で運営しており、予算額の変更は無い。「金沢区観光振興事業」は観光協会等と連携しながら金沢区の魅力発信を行っている。8年度は新たに観光マップの多言語化のための予算を計上しているため増額となっている。英語、中国語を使う観光客が多いためこの二言語から実施する。またホームページの外国語変換が見づらい状況もあり、見直していきたい。

金沢まつりの出店に関しては、出店が少ないとは聞いている。観光協会を含め他団体との調整を検討したい。

**谷田部議員：**『寄り道×Kanabun』整備事業について、金沢区を中心となる地域は金沢文庫駅の西口と東口になると思うが、東口の高架下からふれあいの道を通りぼたんちゃんの広場までをどのようにするのか。「ぼたんちゃん広場」でイベントを行うと、エレベーターの導線と重なる。土木事務所としてどのような構想を持っているのか伺いたい。

**中島金沢土木事務所副所長：**今回は、まず西口側の整備を広場という形で整備を進めて人が集まることができる空間を作った。来年度は、東口に通じる地下通路が少し暗いため、明るくしてつながる空間を作っていきたいと考えている。東口も含めて一体的に人が集まることができる空間づくりを区として考えていきたい。

**谷田部議員：**文庫ふれあいの道について、雨天時は傘を持った歩行者と自転車利用者が交錯している。導線を見ながら検討してほしい。

**黒川議員：**「金沢防災えんづくり事業」での、在宅避難等を踏まえた拠点運営研修に関連して、他都市でのこれまでの事例では、在宅避難者や車中避難者などが支援物資をもらいに行くと言避難所生活者から断られるということがあったと聞いた。支援物資は避難所生活者だけのものではなく在宅避難者などにも供給するべきものだが、研修ではどのように扱っているのか。

**小柳総務課長：**拠点の方も地域住民も発災時は同じ被災者であり差があつてはいけない。地域防災拠点の運営委員からも、支援物資は広く地域住民に配布すべきということを引き続き周知していききたいとの要望も受けている。区としても、引き続き、地域防災拠点の運営委員と連携してパンフレットでの周知や区の防災担当による説明などに取り組んでいきたい。

**黒川議員：**横浜市は三食三日分の備蓄方針を出しているが、実際には避難所分だけでは不足するだろうし、大災害では様々なことを想定しなければ

いけない。地域防災拠点の運営の皆さんがそのような配慮をいただけるように引き続き働きかけてほしい。

金沢区役所の期日前投票所が毎回混雑するが、なかなか改善されないと聞いている。期日前投票所を増やす、より広い会議室にする、受付用PCの増設、商業施設内に期日前投票所を設けるなどの工夫などが必要だと思うが、課題認識と対策について聞きたい。

**小柳総務課長**：週末に期日前投票所が混雑したことは把握している。工夫できることもあるので、他区の事例も踏まえ、市選管とも協議ながら検討していきたい。

**黒川議員**：当日の投票所で八景小学校の体育館がコミュニティスクールに変更になった。かなり狭くなり雪の中、外で並んで待っている人がいたが、投票がスムーズに進む工夫が必要である。記載台は4つあっても1つしか使われていない状況で、外には人が並んでいたため、ぜひ検討してほしい。

**小柳総務課長**：当日投票も混雑した箇所があることは把握している。受付PCなど改善できるものがあれば、次回選挙に向け、市選管と共有し検討を進めていく。

**坂井議員**：以上で本日の議事は終了する。本日の議事内容の市会報告については座長へ一任していただいてよろしいか。

(異議なし)

**坂井議員**：そのほか事務局から何かあるか。

**小柳総務課長**：事務局からは特にございませぬ。

**坂井議員**：以上で本日の議題を終了する。

備 考